

総務省

Ministry of
Internal Affairs and
Communications

MIC

7月号
2015 July
No.175

みなさんと総務省を結ぶ情報誌



特集

平成27年度

「電波の日・情報通信月間」
表彰・イベントが行われました。

MIC FOCUS

あなたの身近に
行政相談委員

地方のかがやき

自然との共生を目指す

高知県黒潮町



02 MIC CLOSE UP!!
マルウェアの感染者に対する
注意喚起を行っています。

04 特集
平成 27 年度
「電波の日・情報通信月間」
表彰・イベントが行われました。

08 MIC FOCUS
あなたの身近に
行政相談委員

12 最終回 太田直樹総務大臣補佐官対談
明治大学教授
小田切 徳美氏

14 MIC NEWS 01
スマート国勢調査!

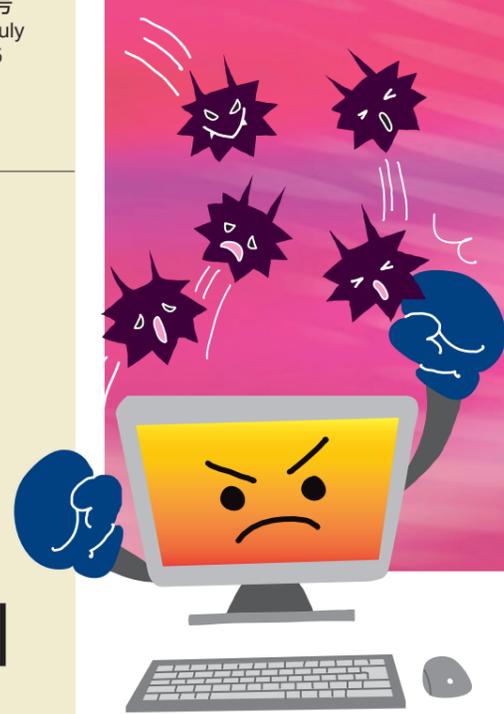
16 MIC NEWS 02
国家公務員の
ワークスタイルを変える
オフィス改革に取り組んでいます

18 MIC NEWS 03
独立行政法人
評価制度委員会が発足しました。

20 地方のかがやき
自然との共生を目指す
高知県 黒潮町



マルウェアの感染者に対する 注意喚起を行っています。



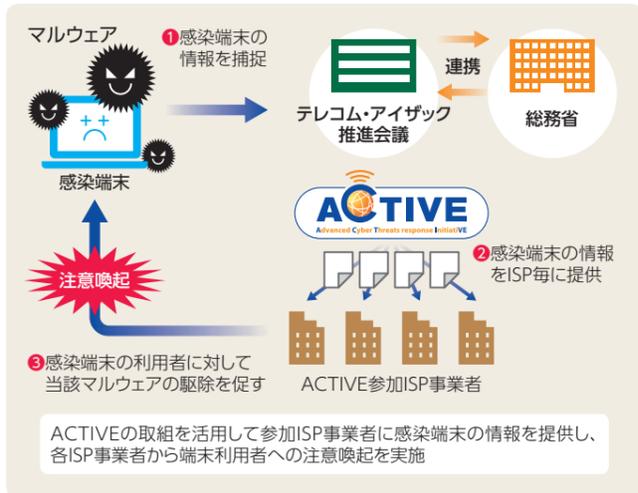
マルウェアとは?

悪意 (Malicious)のあるソフトウェア (Software)を略したもので、利用者のコンピュータに感染することによって、不正送金や情報窃盗などの遠隔操作を自動的に実行するプログラムのこと。

ACTIVEとは?

「ACTIVE」は、総務省と複数の事業者が連携し、国民のマルウェア感染防止と駆除の取組を行うプロジェクトです。

●ACTIVEの目的
インターネット利用者に対して、マルウェアの感染防止と駆除の注意喚起を行い、利用者が自律的にマルウェア対策を実施できる基盤を整備することで、国内のマルウェア感染率を低下させ、世界最高水準の情報セキュリティ環境を実現することを目指しています。



- ### マルウェア感染による被害から身を守るために
- 不審なURLにアクセスしたり、不審なメールに添付されたファイルを開いたりしない
 - ウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトを導入し、最新の状態に保つ
 - OSやアプリケーションなど使用するソフトウェアを最新の状態に保つ

関係情報

官民連携のマルウェア対策プロジェクト ACTIVE
<http://www.active.go.jp/>

インターネットバンキングに係るマルウェアへの感染者に対する注意喚起の実施
http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu03_02000092.html

総務省 国民のための情報セキュリティサイト
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/security/index.html

近年、様々なサービスがインターネットを通じて提供されるなど、インターネットは私たちの生活に欠かせないものとなっている一方、不正なウェブサイトへのアクセスや不審なメールの開封等により、利用する端末がマルウェアに感染することがあります。パソコンやスマートフォンがマルウェアに感染すると、利用しているID・パスワード等の情報を窃取されるおそれがあるほか、そのID・パスワード等を悪用され、金銭的被害を受ける可能性があります。

こうしたマルウェア感染による被害から利用者の情報や財産を守るために、総務省では一般財団法人日本データ通信協会テレコム・アイザック推進会議及び参画インターネットサービスプロバイダ(IISP)等と連携して、マルウェアの感染者に対して注意喚起を行うプロジェクト「ACTIVE」を実施しています。

最近では、平成27年4月より警視庁と連携して、インターネットバンキングの不正送金を行うマルウェア「VAVTRAK」に感染している利用者の方に対して、契約するISPから注意喚起を行っています。

利用者の方に対しては、ご自身の契約するISPからメール又は葉書で連絡をしておりますので、連絡を受け取った場合は通知内容を確認し、案内に従って対策を行ってください。

マルウェア感染による被害から身を守り、安心してインターネットを利用するためにも、不審なURLへのアクセスや不審な添付ファイルの開封をしない、ウイルス対策ソフトを導入する等の基本的なセキュリティ対策をとってください。

平成27年度 「電波の日・情報通信月間」 表彰・イベントが行われました。

6月1日は「電波の日」です。また、毎年5月15日から6月15日までは「情報通信月間」です。

総務省では、6月1日(月)に記念中央式典を開催し、電波利用又は情報通信の発展に貢献した個人・団体や、デジタルコンテンツ及びオープンデータ・アプリの今後の創作活動が期待される方々への表彰を行いました。

【平成27年度】 「電波の日・情報通信月間」記念中央式典における表彰

「電波の日」総務大臣表彰

- 個人 ▶ 伊東 晋 ●東京理科大学 電気電子情報工学科 教授
 多賀谷 一照 ●獨協大学 法学部 教授
 原島 博 ●東京大学 名誉教授
 渡邊 浩之 ●ITS情報通信システム推進会議 会長/トヨタ自動車株式会社 顧問
- 団体 ▶ 一般社団法人 デジタル放送推進協会

「情報通信月間」総務大臣表彰

- 個人 ▶ 奥村 博信 ●一般社団法人 日本ケーブルラボ 名誉顧問/前一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 副理事長
 小田 禎彦 ●一般社団法人 能登半島広域観光協会 理事長/七尾市商工会議所 特別顧問/株式会社加賀屋 代表取締役相談役
 國井 秀子 ●芝浦工業大学 学長補佐・大学院工学マネジメント研究科 教授
 菅谷 実 ●慶應義塾大学 名誉教授/白鷺大学 経営学部 客員教授
 中尾 康二 ●KDDI株式会社 運用本部顧問/国立研究開発法人 情報通信研究機構 ネットワークセキュリティ研究所 主管研究員
 新美 育文 ●明治大学 法学部 教授
- 団体 ▶ ミヤツ・ヘイン ●ミャンマー連邦共和国 通信・情報技術大臣
 一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟

「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞

- | | |
|---------------------------------------|------------------|
| 北星学園余市高等学校 放送局 | 祇園 公美 |
| 米谷 聡美 | 広島市立大州中学校 美術部 |
| 鈴木 栄司 | 愛媛県立松山工業高等学校 放送部 |
| 山口 楓 | 福地 明乃 |
| トライデントコンピュータ専門学校 CGスペシャリスト学科 TEAM AT1 | |

「オープンデータ・アプリ」総務大臣奨励賞

株式会社おたに

情報通信月間推進協議会会長表彰

- 志田林三郎賞 ▶ 三瓶 政一 ●大阪大学 大学院工学研究科 教授
- 情報通信功績賞 ▶ 伊藤 洋 ●関東ICT推進NPO連絡協議会 顧問/前山梨県立大学 学長
 一般社団法人 放送コンテンツ海外展開促進機構



1 記念中央式典の様子 2 式辞を述べる高市総務大臣 3 「電波の日」総務大臣表彰授与

6月1日、
帝国ホテルにて
記念中央式典を
開催

総務省では、第65回「電波の日」(6月1日)及び平成27年度「情報通信月間」(5月15日から6月15日まで)にあたり、6月1日に帝国ホテルで行われた記念中央式典において、「電波の日」総務大臣表彰、「情報通信月間」総務大臣表彰を行いました。

これらの表彰は、電波利用の発展や情報通信の発展に貢献した個人及び団体に対して行うものです。

また、各地域において素晴らしい作品を制作し、今後の一層の創作活動が期待される方々に「地域発デジタルコンテンツ」総務大臣奨励賞を、今後のオープンデータの更なる普及につながる創作活動が期待されるアプリケーション制作者に「オープンデータ・アプリ」総務大臣奨励賞を授与しました。

なお、そのほかに、情報通信月間推進協議会会長から、情報通信の発展に貢献した個人及び団体に対する表彰が行われました。



◀航空無線の大切さを学ぶ



◀飛行機を見学



◀消防救難車両

北海道 総合通信局管内

親子で学ぶ航空無線教室 —航空無線ってなあに?—

5月23日(土)
会場 ● 函館空港 (北海道函館市)

北海道総合通信局は、5月23日(土)、函館空港で「親子で学ぶ航空無線教室」を開催しました。小学生とその保護者の15組30名が参加し、空の安全を支える航空無線について学びました。管制塔とレーダールームでは、管制官とパイロットのやりとりを見学しました。飛行機を無事に着陸させるために無線を通じて的確に指示を出す様子を、息を飲んで見ていました。屋外では、消防救難車両や飛行機の出発準備を見学しました。エンジンやタイヤに触れ、間近で見る飛行機の迫りに圧倒されていました。参加者からは、「たくさん無線設備と人々に支えられて、空の安全が守られていることがわかりました」など、感想が寄せられました。

近畿 総合通信局管内

インターネットの安心・安全に関する動画フェスタ in 近畿 優秀作品発表会

5月23日(土) ● 会場 ● 大阪 コピキタス協創広場 CANVAS (大阪府大阪市)



◀コーディネーターの兵庫県立大学竹内准教授と制作者の青少年とのトークセッション



◀入賞者の記念撮影

「スマートフォン時代に対応した青少年のインターネット利用に関する連絡会」が実施した動画コンテストにおいて、インターネットやスマートフォンの安心・安全な利用に関係する作品の募集を行い、46作品の応募がありました。この中から厳正な審査により決定された入賞作品を上映し、入賞作品の制作者に、動画制作のポイントや、インターネットやスマートフォンの安心・安全な使用方法について語って頂きました。

北陸 総合通信局管内

e-messe kanazawa2015 8K 特別展示

5月14日(木)~16日(土)
会場 ● 石川県産業展示館 1号館 (石川県金沢市)

北陸総合通信局は、一般社団法人石川県情報システム工業会、NHK金沢放送局、北陸情報通信協議会と共催で、e-messe kanazawa2015において8K特別展示を実施しました。85インチの大画面に表示される8K超高精細映像と2.2.2チャンネルの高臨場感の音響は、来場者から大きな注目を集めていました。また、石川県制作の4Kコンテンツや8K対応の13インチ有機ELディスプレイの展示も関心が高く、期間中、全体で約4万6千人の来場者がありました。



▲e-messe kanazawa会場全景

▲8K対応13インチ有機ELディスプレイ

全国各地で開催された 情報通信月間イベント

平成27年度の情報通信月間では、「スマート・ジャパン、拡げよう可能性、創ろう未来」をテーマに、全国各地で情報通信に関する様々な行事が開催されました。その様子をいくつかご紹介します。



信越 総合通信局管内

FMながおかラジオ工作で 花いっぱいフェア2015

5月31日(日)
会場 ● 長岡市民防災公園 (新潟県長岡市)



▲ラジオ工作とサテライトスタジオ



▲ラジオ工作の様相

新潟県長岡市で開催された「長岡市花いっぱいフェア2015」の会場において、「FMながおかラジオ工作で花いっぱいフェア2015」が行われ、親子20組40名の方がラジオ工作を楽しみました。会場では、同社ブースにおいてFMラジオキットの組み立てを体験しました。午前10時のスタートと同時に親子が集まり始めました。ネジを回すところでは少し苦戦する姿が見られたものの、新潟県電波適正利用推進員のみなさんが優しく指導。ラジオが完成していききました。当日は、同じブース内にあるサテライトスタジオから生放送も行われ、完成したラジオで受信ができること、喜びの声が上がりました。番組担当パーソナリティが「今、私の声が聞こえている?ここから放送しているのが、そのラジオから聞こえているんだよ」と語りかけると子供たちは驚きで目を丸くしていました。さらに作ったラジオを使ってインタビュ体験。親から子へ。子から親へ。普段は恥ずかしくてなかなか言えない感謝のメッセージを伝える「ラジオ感動ストーリー」コーナー。小学生の女の子が「いつも仕事したいへんなのに食事を作ってくれてありがとう」の言葉。作ったラジオのスピーカーからお母さんの耳に届きます。お母さんは「どういたしまして」。ラジオは身近にある情報伝達手段であり、「心」も伝えることができる双方向のメディアです。参加者には、ラジオを「作り」「出演し」「伝える」という3つもの体験ができた日となりました。



▲完成したラジオでインタビュー体験



全国に
約5,000人



あなたの身近な場所 でご相談を受けています。

行政相談所



行政相談委員は、公民館などの公共施設やショッピングセンターなど、地域の身近な場所で相談所を開設し、苦情や意見・要望を受け付けています。また、地域を巡回したり、民生委員、人権擁護委員などと合同で相談所を開設している場合もあります。



行政相談所（秋田）



行政相談所（栃木）

行政相談 懇談会



行政相談委員は、自治会、婦人会などの代表者や地域の方々との懇談会を開催し、行政に関する苦情や意見・要望をお聞きしています。



行政相談懇談会（新潟）



行政相談懇談会（沖縄）

行政相談 出前教室



行政相談委員と管区行政評価局・行政評価事務所の職員と一緒に、小学校、中学校、高校、大学等に出向いて、行政相談の改善事例を具体的に紹介しながら、行政相談制度の授業を行っています。



小学校での出前教室（山形）



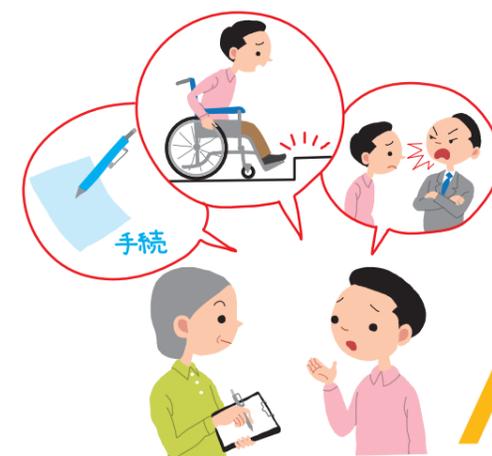
小学校での出前教室（徳島）



あなたの身近に 行政相談委員

行政相談委員とは？

皆さまのお住まいの市(区)町村には、総務大臣から委嘱された行政相談委員がいます(全国に約5,000人)。皆さまの相談相手として、行政サービスに関する苦情、行政の仕組みや手続などに関する相談を受け付け、その解決のための助言や関係行政機関に対する通知などの仕事を無報酬で行っています。



Q どんなことが
相談できるのですか？

A 「手続が分かりにくい」、「行政機関の決定が不公平」、「安全性に欠ける公共施設がある」、「高齢者や障がい者への配慮に欠けている」、「職員の応接態度が悪い」などの行政に関する様々な相談を受け付けています。

Q どんな方が
行政相談委員になっているのですか？

A 行政相談委員は、国民の皆さまの身近な相談相手として総務大臣から委嘱された民間有識者(ボランティア)です。行政相談委員は、各市(区)町村に1人以上配置されていて、役所に関するお困りごとの相談を毎年約9万件(総務省の行政相談処理件数は全体で約17万件)受け付け、相談者への助言や関係機関に対する通知などを行っています。





事例3 郵便ポストを安全に利用できる場所に移設してほしい

相談内容

自宅近くの郵便ポストは、信号機のないT字交差点のコーナー部分に、投入口が道路側に向けた状態で設置されている。この道路は、交通量も多く、投函時にいつも危険を感じている。ポストを安全な場所に移設させるなどしてほしい。

改善結果

相談を受けた委員が現地を確認したところ、相談内容のような状況がみられたので、このポストを管理する郵便局に連絡しました。その結果、ポストが、交通量の少ない安全な場所に移設されました。



委員意見

行政相談委員は、相談活動を通じて得られた様々な行政運営上の改善についての意見を、総務大臣に述べることができます(行政相談委員法第4条)。これらの意見は、総務省が各府省に通知するなどにより、行政運営の改善に活用されており、行政の制度・運営の改善が図られたものも少なくありません。



事例4 未支給の失業給付の請求期限を延長してほしい

意見内容

雇用保険の失業給付受給者が亡くなった場合、その遺族は、死亡を知った日の翌日から1か月以内かつ死亡した翌日から6か月を経過する前に失業給付の未支給分を請求できる。しかし、請求期間が死亡を知った日の翌日から1か月以内では短すぎるので、遺族の生活援助の観点から、請求期間を延長すべきである。

改善結果

委員から意見を受けた総務省が、請求期間の延長を検討するよう厚生労働省に要請しました。その結果、厚生労働省は省令を改正し、請求期間を死亡の翌日から6か月に延長するとともに、同省ホームページに家族向けの周知リーフレットを掲載しました。

電話による相談
[行政苦情110番]

おこまりなら まるまる くじょー ひゃくとおばん
TEL **0570-090110**【全国共通番号】

●最寄りの管区行政評価局・行政評価事務所につながります。●一部のIP電話等では、ご利用できない場合があります。●平日の夜間、土日・祝日(終日)は、留守番電話で対応しています。●ご相談のお電話は、相談内容の正確な把握のため、録音させていただきます。●NTTコミュニケーションズが定める通話料がかかります。

インターネット
による相談

行政相談

検索

http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/hyouka/soudan.html



行政相談委員による 主な改善事例



事例

1 バス停留所の待合所に屋根を付けてほしい

相談内容

国道にあるバス停留所が、道路工事のために、一時的に県道に移設された。これに伴い、元々あった屋根付きの待合所が撤去されたが、工事は長期に及ぶと聞いているので、移設先の待合所にも屋根を付けてほしい。

改善結果

相談を受けた委員が、県土木事務所を通じて国道事務所に改善を要請した結果、移設先の待合所に屋根が設置されました。



事例

2 線路への進入を防止するためのフェンスを設置してほしい

相談内容

線路脇にあるゴミ収集所に、週2~3回、子どもを連れてゴミ捨てに行っているが、このゴミ収集所と線路の間にはロープが1本張られているだけで、非常に危険である。線路内への進入を防止するためのフェンスを設置してほしい。

改善結果

相談を受けた委員が現地を確認したところ、相談内容のような状況がみられたので、行政評価事務所に連絡しました。当該事務所から鉄道会社に連絡した結果、線路脇に金網が設置されました。



大臣補佐官 対談



太田直樹 総務大臣補佐官

明治大学農学部 小田切徳美 教授

「過疎」という言葉が誕生してから半世紀。地方からは若者が流出し、深刻な高齢化に直面していると言われて久しい。しかし近年、農山村を目指す若者が増えているという。この動きをどのように捉えればよいのか。最終回は、長年過疎問題に取り組んできた明治大学の小田切徳美教授にお話を伺った。

変わりつつある 農山村

太田 本日はお忙しいところお時間をいただきましてありがとうございます。私も着任以来、地方の現場を見る機会を多く取り、インターン経験者などからも直接お話を聞かせていただいたところですが、そこで、地方の現場が今まさに変わりつつあるということを感じております。先生には総務省の会議でも、特に移住施策、インターンについて御知見をいただいているところですが、今回改めてお話を伺いたく思います。

小田切 今、地方が変わろうとしています。そして、それはまさに補佐官が

必要なのは 人口増ではなく人材増

小田切 そうです。ただ、私が根本に置いている考えなのですが、日本の人口が確実に減少していく中で、地方の人口増を議論してもあまり意味がなく、地方に「人材」を増やしていくことを考えるべきだと思います。最初は人口増の議論から入ったとしても、その議論の出口は、人を引きつける「人材」を地方に呼び込むことに帰着するのではないのでしょうか。

信託住民が 地方再生の糸口

太田 地方に人を引きつけるという意味では、移住の前に、交流人口を増やす、あるいはニ力所居住から地方に入ってもらう方法もあると思います。第二町民、第二市民のような動きが出てきている地方もあると聞きますが、

小田切 実はそのような考え方を80年代後半に既に提唱していた方がいました。東洋大学の学長などを務められた、都市社会学の大家の磯村英一先生です。先生は、東京一極集中傾向が強まる中で、安定的な自治体経営を実現するために、地域外に住みながらも、その地域環境に関心を持ち、応援したいと思う「信託住民」制度を提唱しているという話をしました。地域外の住民による資金、労役、知識・知恵の提供が、地域内の内発的エネルギーと結びつくところに地域再生の糸口があると説いていらしたのです。実はこの考え方はふるさと納税の下地でもあるのですよ。

太田 もの凄いな時代の先読みをされていたということですね。ICT化が進展した現代では、磯村先生の考え方が何かが生まれるかもしれません。まさに温故知新ですね。本日はありがとうございました。



ないのだという言説はまだ世の中の8割、9割を占めていると思いますが、このことが今、切り崩されようとしています。我々はまさに地方の現場でそれを目の当たりにしているわけですが、この意識はなかなか広がらないです。県庁でも信じてもらえないことがあります。

太田 以前会ったインターン経験者の方は、地方では家賃を始めた物価が安いので、それほど稼がなくても食べていけるから、チャレンジするには最高の場だと言っていました。仕事を自分で興せないと地方で暮らしていくのは難しいというお話も出ましたが、逆に起業したい方々にとっては、チャレンジの場と言えるかもしれませんね。

小田切 まさにそうです。島根の方が教えてくれた話ですが、例えば島根県の海士町に関わっている方には、途上国などの海外経験が豊富なグローバル人材が少なくありません。これはどういう現象なのでしょう。か。人によっては「若者が内向き化した」という方もいますが、私は絶対にそうじゃな

太田 そうだと思います。人口が人口で出口が人材であり、双方を繋ぐものが地域の内発的な産業政策という見方もできると思います。総務省でも「地域の産業・雇用創造チャート」というものを先日公表しました。そこでも、最初は地域の人口維持の議論から入るのですが、最後はその産業を伸ばすか、そのためには加工技術を持った人と呼ばれるのか、マーケティングができる人なのか、という地域が求める人材の話に繋がっていきます。特に際立った産業が存在しない自治体では新たに仕事を興せる人が求められていると思いますね。

小田切 そうだと思います。若者の仕事確保できないから移住ができないという議論がありますが、一方で、「何か仕事がありますか」と周囲に尋ねている若者が、農山村の将来を担えるわけがありません。やはり自分で仕事を作るくらいの方々に来ていただいて、極端な話で、仮に人口が半分になったとしても、そういう自立的な方々が2倍3倍になれば地域の持続可能性は全く違ったものになると思いますね。

グローバル人材が ローカルに向かう時代

小田切 地方に仕事がないから人が来

日本最大級のオンライン学習サービス「schoo」での国勢調査オンライン授業について

schoo (スクー)とは

生放送授業を無料で受講できるサービスとなっており、オンラインで授業を視聴できます。スクーではさまざまなジャンル、業界から「先生」をお招きして、毎日新しい「授業」を生放送でお届けしています。

日時：平成27年7月24日19時～21時15分

ファシリテーター：堀潤さん

プログラム

- 1 限目 **国勢調査概論**
講師 大林千一 (帝京大学教授)
- 2 限目 **データから読み解くニッポンの“今”**
講師 加藤久和 (明治大学教授)
大林千一 (帝京大学教授)

アップアップガールズ(仮)もイベントに出演予定です!

公式応援団
アップアップガールズ(仮)



写真左から新井愛瞳さん、森咲樹さん、佐藤綾乃さん、仙石みなみさん、関根梓さん、佐保明梨さん、古川小夏さん

あなたの回答が、日本の未来をつくります。

スマート国勢調査!

全国一斉インターネット回答をスタートします!

国勢調査は、日本の人口や世帯の構成を明らかにする。統計は国や地域の発展を支える最も重要な統計調査です。国勢調査を正確に実施するため、国勢調査への参加を広く呼びかけます。

国勢調査の最新の実態を明らかにする調査です。

国勢調査は、日本の人口や世帯の構成を明らかにする。統計は国や地域の発展を支える最も重要な統計調査です。国勢調査を正確に実施するため、国勢調査への参加を広く呼びかけます。

国勢調査は、日本の人口や世帯の構成を明らかにする。統計は国や地域の発展を支える最も重要な統計調査です。国勢調査を正確に実施するため、国勢調査への参加を広く呼びかけます。

国勢調査は、日本の人口や世帯の構成を明らかにする。統計は国や地域の発展を支える最も重要な統計調査です。国勢調査を正確に実施するため、国勢調査への参加を広く呼びかけます。

リーフレット (裏)

国勢調査啓発イベント in Tokyo

「国勢調査2015」キャンペーンサテライト(仮称)

日時：平成27年7月24日(金)～8月2日(日)

場所：日本テレビプラザ

内容：「国勢調査2015」の紹介、インターネット回答デモ体験、センサスくん、みらいちゃんと記念撮影、ステージ上でのPR等

ステージ出演：7月28日・29日・30日のいずれか1日でアップアップガールズ(仮)が出演(予定)

国勢調査啓発イベント in Osaka

「国勢調査2015」キャンペーンサテライト(仮称)

日時：平成27年8月22日(土)

場所：グランフロント大阪 うめきた広場

内容：「国勢調査2015」の紹介、センサスくん、みらいちゃんと記念撮影等

ステージ出演：アップアップガールズ(仮)(予定)

国勢調査 2015

スマート国勢調査!

全国一斉インターネット回答をスタートします!

データの向こうにドラマがある

5年に1度の大調査!! / 国勢調査が、進化しました!

今回の調査は、パソコン・タブレット・スマートフォンからご回答いただけます!

インターネット調査は 9月10日～20日

調査期間中の調査は 10月1日～7日

国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とした、国の最も重要な統計調査です。

国勢調査コールセンター 0570-07-2015

国勢調査2015 キャンペーンサイト

http://kokusei2015.stat.go.jp/

リーフレット (表)

今回の国勢調査は大きく進化し、インターネットでの回答ができるようになりました。インターネット回答の導入により、より便利で簡単に回答ができ、スマートで効率的な調査になったことから、キャッチコピーを「スマート国勢調査!」としています。また、広報キャラクターには国勢調査プロジェクトチーム広報担当役の織田信成さんを中心に、国勢調査員代表役で国民的タレントの藤原紀香さん、リーダー役として高田純次さん、そして国勢調査イメージキャラクターのセンサスくんを起用して、国勢調査プロジェクトチームを舞台に、国民の皆様にご紹介しています。

「スマート国勢調査!」キャンペーンサイト

http://kokusei2015.stat.go.jp/

「スマート国勢調査!」スペシャルムービー公開中

https://www.youtube.com/watch?v=OjCgf6yeSJE



スマート国勢調査!

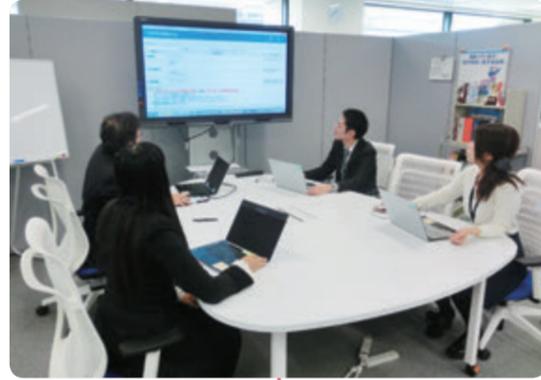
総務省統計局では平成二十七年国勢調査を広く国民の皆様にご覧いただくために実施周知用リーフレットを作成しました。ここではリーフレットの内容について簡単に紹介いたします。また、国勢調査公式応援団「アップアップガールズ(仮)」も参加予定の「国勢調査啓発イベント」を東京、大阪で開催しますので、イベントのご案内をすまじくとも、メンバーの紹介をいたします。

見学や質問等のお問い合わせはこちら！

総務省行政管理局
行政情報システム企画課
電話 03-5253-5340

電子ボード

画面に書き込みもできる大型の電子ボードにより、多人数での情報共有がスムーズかつ容易になりました。その場で電子的に資料の修正・確認もできるので、意思決定の迅速化につながっています。



国家公務員のワークスタイルを変える オフィス改革に取り組んでいます

本年1月、総務省行政管理局行政情報システム企画課では、国家公務員のワークスタイル変革を目指し、オフィス環境を刷新する取組を実施しました。

行政管理局における新たなオフィス

取組の概要

個人用机を撤廃し、多人数で座るチーム型机を導入するとともに、「フリーアドレス」と呼ばれる個人が自由に座席を選ぶスタイルを取り入れました。また無線LANや電子ボードなどを活用し、ペーパーレスでの打合せも実現しています。このようなオフィス環境の抜本的見直しは、霞が関の中央省庁では先駆的な試みとなります。



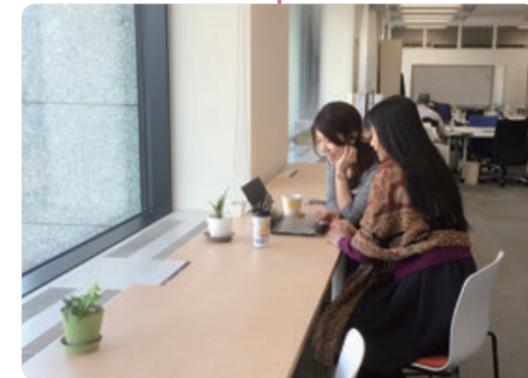
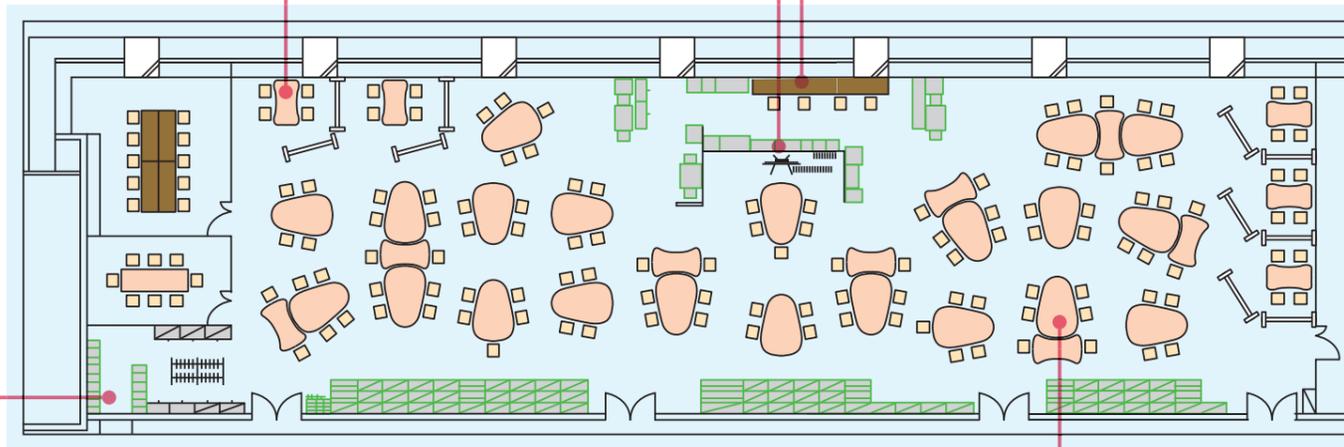
打ち合わせスペース

職員1人あたりの執務スペースが小さくなったことで生まれたスペースを有効活用し、予約不要の打ち合わせスペースを新たに設置しました。無線LANに対応したパソコンを持ち運び、いつでも即座にペーパーレスでの打合せが可能です。



ロッカースペース

執務室内のセキュリティ向上のため、帰宅時に各自パソコンと内線電話を収納する鍵付きロッカーを設置しました（ロッカー内での充電も可能）。



コミュニケーションスペース

個人での集中作業や職員同士の気軽に気さくなコミュニケーション用のスペースです。業務関係の新聞・情報誌が閲覧できる情報収集の場ともなっており、人と情報が集まる交流の場として活用されています。

各チーム机

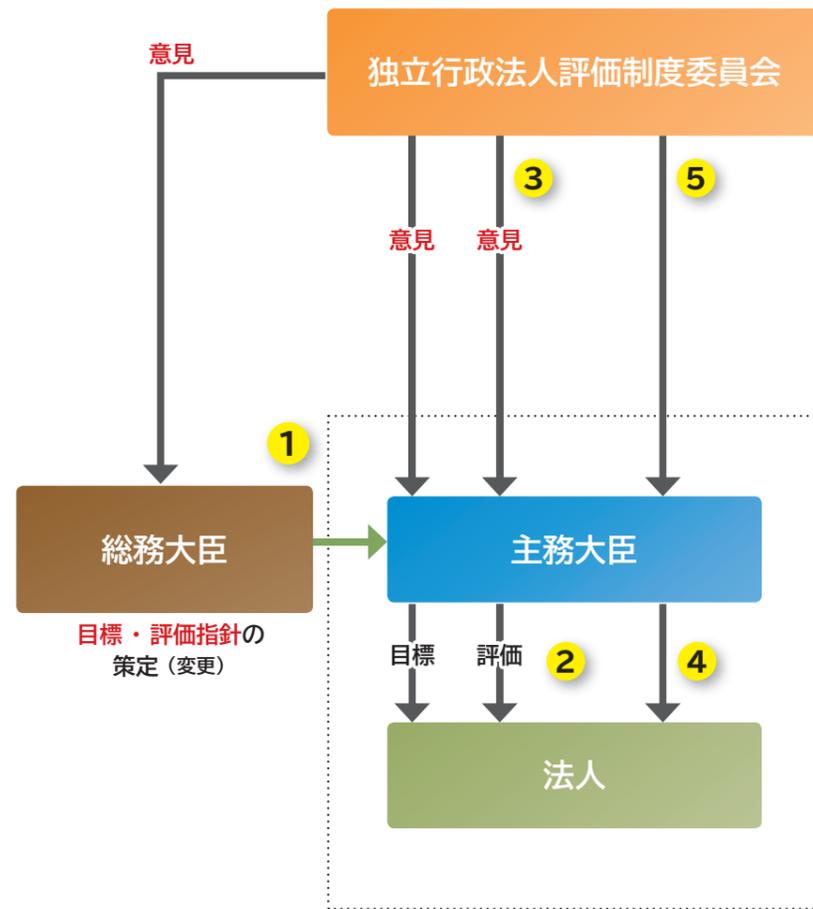
各チームが一つの机を囲む配席で全員の顔を見ながら仕事ができるため、チーム内の情報共有やコミュニケーションが円滑になりました。また、自由席かつ書類を置くスペースを設けなかったことでペーパーレス化も促進されています。



オフィス改革の効果について

- ・ 個人周辺の紙文書が8割削減されるとともに、カラープリント枚数が半減！
- ・ 柔軟な座席配置やチーム型機の導入により、職場内のコミュニケーションが活性化。7割以上の職員は業務がやりやすくなったと回答！
- ・ 打ち合わせスペースの新設などオフィススペースを有効活用！
- ・ 紙を使わずパソコン1台で仕事ができる環境が整ったことで、自宅でのテレワークへの移行がスムーズに！

新制度における目標・評価の仕組み (中期目標管理法人の例)



- 1** 総務大臣は、委員会の意見を聴いて、政府統一的な独立行政法人の目標・評価の指針を策定します。
- 2** 主務大臣は、総務大臣の策定した目標・評価の指針に基づいて、独立行政法人の目標策定や業績評価を行います。
- 3** 委員会は、主務大臣の目標策定や業績評価を点検し、必要な意見を述べます。
- 4** 主務大臣は、独立行政法人の中期目標期間終了時に法人の組織・業務全般の見直しを行います。
- 5** 委員会は、主務大臣の見直し内容を点検し、意見を述べるほか、必要な場合には勧告や内閣総理大臣に対して意見具申を行うことができます。

平成27年より独立行政法人の評価の仕組みが変わりました！

独立行政法人 評価制度委員会が 発足しました。

平成27年4月1日、独立行政法人の新しい評価の仕組みが導入され、総務省に「独立行政法人評価制度委員会」が設置されました。



▲ 第1回委員会の様子
挨拶する二之湯副大臣(右)と野路委員長(左)

独立行政法人 評価制度委員会とは？

新たな評価の仕組みでは、主務大臣が独立行政法人の目標策定から業績評価まで一貫して責任を持つこととなり、独立行政法人評価制度委員会は、政府唯一の第三者機関として主務大臣の目標策定や業績評価をチェックする重要な役割を担うこととなります。

委員会には、評価の質の向上、財務運営の透明性と説明責任の向上を図るため、主務大臣の目標管理と財務情報を連携させる観点から、主務大臣の目標案や業績評価の点検などを担う「評価部会」と、独立行政法人の会計基準等の検討などを担う「会計基準等部会」の二つの部会が設置されています。

独立行政法人評価委員会の概要

第1回 平成27年4月9日

委員長の互選や委員会運営規則等の決定が行われました。また、高市総務大臣より諮問のあった①独立行政法人の役員の退職金に係る業績勘案率の算定ルール及び②独立行政法人の調達に関する新たなルールについて審議が行われました。

第2回 平成27年5月22日

①独立行政法人の役員の退職金に係る業績勘案率の算定ルール及び②独立行政法人の調達に関する新たなルールについて答申が行われました。また、今年度の委員会における評価の取組方針等について審議が行われました。

第3回 平成27年8月5日(予定)

● より詳しくは独立行政法人評価制度委員会のホームページをご覧ください。
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/singi/dokuritungyousei/index.html

独立行政法人評価制度委員会委員

- (委員長)
野路 國夫 …………… (株式会社小松製作所代表取締役会長)
- (委員)
岡本 義朗 …… (新日本有限責任監査法人エグゼクティブディレクター)
梶川 融 …………… (太陽有限責任監査法人代表社員会長)
榎谷 隆夫 …………… (榎谷公認会計士事務所公認会計士・税理士)
栗原 和枝 …………… (東北大学原子分子材料科学高等研究機構教授)
関 利恵子 …… (信州大学学術研究院社会科学系経済学部准教授)
高橋 伸子 …………… (生活経済ジャーナリスト)
土井 美和子 …………… (国立研究開発法人情報通信研究機構監事)
原田 久 …………… (立教大学副総長)
村岡 富美雄 …………… (株式会社東芝常任顧問)

(臨時委員)

- 会田 一雄 …………… (慶應義塾大学総合政策学部教授)
佐藤 綾子 …………… (富山国際大学現代社会学部准教授)
中川 順子 …………… (野村ホールディングス株式会社執行役員)





土佐さがのもどりカツオ祭

一年の豊漁と海上安全への感謝を込め、毎年10月下旬頃行われます。毎年好評のカツオの一本売りや各種ゲームなどで、地域住民の交流の場ともなっています。



鹿島神社

海に浮かぶ島にある鹿島神社は、昔から漁師の神様として親しまれてきました。毎年3月上旬に大祭が行われ、お神輿や豊漁祈願の漁船パレードなどで賑わいます。



入野松原

江戸時代に植えられたと言われる、延長約4kmのクロマツ林です。周辺の住民を塩害から守る暴風保安林として、また史跡名勝天然記念物としても有名です。



カツオと鯉のぼりの川渡し

佐賀・坂折地区の伊与木川で4月下旬から5月上旬にかけて行われる川渡し。カツオのぼりと鯉のぼり合わせて約100匹が、子どもの成長を願い川の上を悠々と泳ぎます。

入野海岸
延長約4kmに渡って砂浜が広がる海岸。日本の渚百選にも選ばれています。別名「月見ヶ浜」とも呼ばれ、親しまれています。



特産品 さしすせそ（黒砂糖・塩・酢・魚醤・味噌）
黒砂糖・天日塩・酢（柑橘類）・かたくちいわしときびなごの魚醤・味噌。日本でも数少ない「基本調味料が地元産で全て揃う町」であることから、天日塩や味噌作り体験なども実施されています。

地方のかがやき

高知県

くろしおちょう 黒潮町

高知県の西南地域に位置する黒潮町。ゆるやかな海岸線と緑豊かな山々に囲まれています。平成24年に高知自動車道が四万十町中央I.Cまで開通し、高知市内から車で1時間半ほどの距離となりました。

人口/12,025人 (2015年5月末現在)
面積/188.58km²
HP...<http://www.town.kuroshio.lg.jp/>



予測されました。これをきっかけに、町内が一丸となって防災対策に取り組み「犠牲者ゼロ」「避難放棄ゼロ」を目標に掲げた防災計画が次々と実施されてきました。沿岸部に避難タワーを設置したり、町役場職員全員が町内各地の防災地域担当となり個別避難カルテ作成の防災ワークショップを開くなど、ハードとソフトの両面から町内の防災意識を高めています。「自然の恵みを受けて暮らすからこそ自然の営みを知り、人と自然のつきあい方を考える」。危険想定を逆手に取った黒潮町の防災への取組は観光や新産業へと発展し、「暮らしやすいまちづくり」へと広がりを見せています。

その名の通り、黒潮の海の恵みを中心とした自然に溢れた黒潮町ですが、平成24年に発表された南海トラフ巨大地震被害想定では最大震度7、最大津波高3.4mが予測されました。これをきっかけに、町内が一丸となって防災対策に取り組み「犠牲者ゼロ」「避難放棄ゼロ」を目標に掲げた防災計画が次々と実施されてきました。沿岸部に避難タワーを設置したり、町役場職員全員が町内各地の防災地域担当となり個別避難カルテ作成の防災ワークショップを開くなど、ハードとソフトの両面から町内の防災意識を高めています。「自然の恵みを受けて暮らすからこそ自然の営みを知り、人と自然のつきあい方を考える」。危険想定を逆手に取った黒潮町の防災への取組は観光や新産業へと発展し、「暮らしやすいまちづくり」へと広がりを見せています。

黒潮の恵みと脅威のもとで自然との共生を目指すまち



かがやき その1

ありのままを作品にした 建物のない「砂浜美術館」

くじら、松原、産物、環境、
そして人と町を「作品」に

「私たちの町には美術館がありません。美しい砂浜が美術館です。」をコンセプトに、平成元年に立ち上げられました。写真家・(故)北出博基さんが考えた「自分の作品をプリントしたTシャツを砂浜で展示したい」というアイデアが基になっており、高知県在住のデザイナー梅原真さんと大方町(当時)のメンバーが議論を重ねて、現在の形になりました。沖を泳ぐニタリクジラや潮風を受ける松原、浜辺の漂流物、そしてこの町に暮らす人々の営みや地域に伝わる文化や知恵などを作品としています。



地元大方高校の生徒と高知大学の学生、町民ボランティアのコラボレーション企画のキャンドルナイト。

ニタリ館長に会う ホエールウォッチング

砂浜美術館の館長、ニタリクジラに会えるかもしれないホエールウォッチング。温暖な高知の海にはクジラのほか、イルカやトビウオなど海の生き物が多く生息しています。広い海と青い空、爽やかな潮風を堪能しながら、海の生き物の生体や高知の海を楽しむことができます。



大人気のホエールウォッチングは約4時間。雄大な太平洋を堪能できます。

DATA
NPO砂浜美術館 TEL: 0880-43-4915

1 浜に杭を打ち、洗濯物を干すように展示されるTシャツアート展。展示が終わると潮風の香りとともに応募者に返却されます。2 潮風のキルト展では、入野松原で手作りのパッチワークキルトを展示します。近隣の学校では開催に合わせキルトの授業も。3 漂流物展の様子。中にはダイヤの指輪もあったとか。漂流物を使ったワークショップも行っています。4 海岸にはヤシの実や木のおもちゃなども流れ着きます。



かがやき その2

「想定津波高日本一」から 生まれた「防災缶詰」

非常食で日常を取り戻すため
味にこだわった備蓄缶詰を

日本一高い津波が押し寄せると予測された黒潮町。その厳しい想定を逆手にとり、備蓄缶詰を作る第三セクター・株式会社「黒潮町缶詰製作所」は平成26年3月11日に設立されました。その目的は「防災の町」として「食」と「職」、ふたつの二ズへ対応する新産業の創出です。

商品企画の際には、東日本大震災で被災した宮城県気仙沼市に担当職員が赴き、食料二ズについて聞き取り調査を行いました。その結果「ふだん食べ慣れたものを食べられることが、心の支えになる」と考え、「毎日食べてもらええる『日・常食(ひじょうしょく)』をコンセプトに、味と栄養バランスにこだわった備蓄缶詰の開発を進めました。商品は、現時点では「カツオと和だし生姜煮」「カツオと和だししょうゆ」「カツオと和だししょうゆのアーモンドソース」などの6種類。

「私たちの町には美術館がありません。美しい砂浜が美術館です。」をコンセプトに、平成元年に立ち上げられました。写真家・(故)北出博基さんが考えた「自分の作品をプリントしたTシャツを砂浜で展示したい」というアイデアが基になっており、高知県在住のデザイナー梅原真さんと大方町(当時)のメンバーが議論を重ねて、現在の形になりました。沖を泳ぐニタリクジラや潮風を受ける松原、浜辺の漂流物、そしてこの町に暮らす人々の営みや地域に伝わる文化や知恵などを作品としています。

海の幸と野菜の旨みを生かした味付けが特徴で、缶詰らしくらぬ素材の風味が味わえます。町内の人々からは「美味しい」「備蓄しないですぐに食べてしまおう」と好評です。

黒潮町が提案する「美味しいからいつも食べる、いつも食べるから日常的に購入し、それが備えとなる」というローリングストック(循環備蓄)は、「想定にとらわれず、自分の命を自分で守るため最善をつくす」という防災意識の育成にもつながっています。



1 工場には、ブランドロゴとともに「未来へ紡ぐ」の意図を込めた「WE CAN PROJECT」のフレーズが掲げられています。2 社員やアルバイトなど合わせて18名が働いています。将来的には今より大きな施設で本格的な稼働を行う計画です。3 高知産一本釣りカツオに生姜を効かせ、黒砂糖などを使った醤油汁で甘辛く煮付けた「カツオの和だし生姜煮ごり」のほか「いろいろ旨味豆のトマト煮」「カツオとキノコのトマト煮」など全6種類。

DATA
黒潮町缶詰製作所
TEL: 0880-43-3776

カツオふれあいセンター 黒潮一番館



タタキ作りを丁寧に教えてくれます。

漁協女性部を中心とした「黒潮カツオ体験隊」が運営する施設です。地元漁師さんやおかみさんから、本格的な魚のさばき方を教えてもらいながら、豪快なカツオの薬焼きタタキ作り体験ができます。薬を使うことで高温で一気に外側を焼くことができ、薬のいい香りと濃厚な旨みをふんだんに楽しめます。館内では、タタキはもちろん、刺身やカツオコロッケ定食などを食べることもできるレストランも併設。修学旅行生などの受け入れも可能です。元氣なおかみさんは、「カツオの町・黒潮町」の広報としても活躍しています。

昔ながらの「薬焼き」。

DATA
〒789-1720
高知県幡豆郡黒潮町佐賀374-9
TEL: 0880-55-3680
営業時間 11~15時
定休日 火曜日
※タタキ作り体験は要予約。

国勢調査
2015



スマート国勢調査!

全国一斉インターネット回答をスタートします!



データの向こうにドラマがある

5年に1度の大調査!!

国勢調査が、進化しました!

今回の調査は、パソコン・タブレット・スマートフォンからもご回答いただけます!

いつでもどこでも、便利に回答。
パソコン、タブレット、スマートフォンでの回答を可能に!!

インターネット回答がなかった
世帯には調査員が調査票をお配りいたします!!

インターネット回答は

調査票での回答は

9月10日~20日

10月1日~7日

9月10日~9月12日

インターネット
回答用IDを配布

9月10日~9月20日

インターネット
回答

9月26日~9月30日

調査票を
配布

10月1日~10月7日

調査票
提出

回答いただいた情報は厳重に保護されます。国勢調査は「統計法」で厳格な秘密保護が定められています。回答いただいた内容は統計以外の目的に使用することはありません。

国勢調査は、日本国内に住むすべての人と世帯を対象とした、国の最も重要な統計調査です。

調査結果は、福祉施策や防災計画、生活環境の改善をはじめとした日本の未来をつくるために欠かせない様々な施策の計画づくりなどに役立てられます。
マンションなどの集合住宅にお住まいの方、管理者の方におかれましても調査への回答、ご協力をお願いいたします。

国勢調査コールセンター



0570-07-2015 IP電話の場合:03-4330-2015

設置期間:平成27年8月24日から10月31日まで
※ナビダイヤルの通話料金は、一般の固定電話の場合、全国一律に市内通話料金でご利用いただけます。
※携帯電話・PHSの場合、それぞれ所定の通話料金となります。
※IP電話用電話番号の通話料金は、所定の通話料金となります。

国勢調査2015キャンペーンサイトにてスペシャルムービー公開中!!

くわしくは

<http://kokusei2015.stat.go.jp/>



国勢調査をよそおった「かたり調査」にご注意ください。

調査員は、「国勢調査員証」を身に付けています。不審に思われた場合には、市区町村の国勢調査担当までお問い合わせください。



総務省統計局・都道府県・市区町村からのお知らせです